



# Sun Fire™ エントリレベル ミッドレンジシステム ファームウェア 5.20.1 ご使用にあたって

---

Sun Microsystems, Inc.  
[www.sun.com](http://www.sun.com)

Part No. 819-7160-10  
2006 年 7 月, Revision A

コメントの送付: <http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

Copyright 2006 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします)は、本書に記述されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents>に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付属する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人 日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, docs.sun.com, Java, OpenBoot, Sun Fire, SunStorEdge は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun™ Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインターフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

U.S. Government Rights—Commercial use. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本書には、技術的な誤りまたは誤植の可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法(外為法)に定められる戦略物資等(貨物または役務)に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典:	Sun Fire Entry-Level Midrange Systems Firmware 5.20.1 Release Notes Part No: 819-6576-10 Revision A
-----	---



# 目次

---

Sun Fire エントリーレベルミッドレンジ (E2900/V1280/Netra 1280/Netra 1290) システムのファームウェアのマニュアル	1
5.20.1 Release で導入された機能	2
5.20.1 でのコマンドの追加または変更	2
一般的な情報	2
ファームウェアのアップグレードおよびダウングレード	2
Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムの既知の制限事項	2
DR を実行してシステムボードのドメインへの組み込みを解除したあとも、prtdiag でそのボードが表示される (CR ID 6298989)	3
メモリーページリタイアメントのサポートは、デフォルトで有効になるべきである (CR ID 6411108)	3



# Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムファームウェア 5.20.1 のご使用にあたって

---

本書では、Sun Fire E2900、Sun Fire V1280、Netra 1280、および Netra 1290 システムのファームウェア release 5.20.1 に関する一般的な情報と、システムの制限事項について説明します。本書は『Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムファームウェア 5.20.0 ご使用にあたって』(Part No. 819-5584-10) に代わるものではなく、これを補足するものです。

本書では、次のトピックについて記載します。

- Sun Fire エントリーレベルミッドレンジ (E2900/V1280/Netra 1280/Netra 1290) システムのファームウェアのマニュアル
- 5.20.1 Release で導入された機能
- 一般的な情報
- Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムの既知の制限事項

---

## Sun Fire エントリーレベルミッドレンジ (E2900/V1280/Netra 1280/Netra 1290) システムのファームウェアのマニュアル

- 『Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステム管理マニュアル』(Part No. 819-5593-10)
- 『Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムコントローラコマンドリファレンスマニュアル』(Part No. 819-5589-10)
- 『Sun Fire エントリーレベルミッドレンジシステムファームウェア 5.20.0 ご使用にあたって』(Part No. 819-5584-10)

---

## 5.20.1 Release で導入された機能

この節では、Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステムでの 5.20.1 Release の新機能について簡単に説明します。

### 5.20.1 でのコマンドの追加または変更

5.20.1 では、次の SC コマンドが変更されました。

- `setupsc - Enable Memory Page Retirement` オプションが変更されました。デフォルト値が `true` になりました。

このコマンドの詳細は、『Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステムコントローラコマンドリファレンスマニュアル』の説明を参照してください。

---

## 一般的な情報

この節では、エントリレベルミッドレンジシステムに関する一般的な事項の概要について説明します。

### ファームウェアのアップグレードおよびダウングレード

ファームウェアの更新手順 (アップグレードおよびダウングレード) は、『Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステム管理マニュアル』に記載されています。

---

## Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステムの既知の制限事項

この節では、重大な影響を及ぼす可能性のあるバグについてのみ説明します。README ファイルには、Sun の内部だけで検出されたバグも含めて、すべてのバグの一覧が記載されています。

## DR を実行してシステムボードのドメインへの組み込みを解除したあとでも、prtdiag でそのボードが表示される (CR ID 6298989)

UltraSPARC IV+ プロセッサを搭載するボードを DR を使用してドメインから構成解除したあとでも、prtdiag ではそのボードがまだドメイン内にあるように表示されます。psrinfo コマンドを実行すると、ボードがそのドメインに存在しなくなったことが正しく表示されます。

**回避方法:** この問題は、Solaris 10 1/06 release で解決されています。ドメイン上で Solaris 10 3/05 release、Solaris 9、または Solaris 8 が動作している場合は、使用しているバージョンの Solaris OS に対応するパッチをインストールしてください。

- Solaris 10 3/05: パッチ 118822-23 以降をインストール
- Solaris 9: パッチ 117124-11 をインストール
- Solaris 8: パッチ 111335-32 をインストール

これらのパッチは、<http://sunsolve.sun.com> から入手できます。

## メモリーページリタイアメントのサポートは、デフォルトで有効になるべきである (CR ID 6411108)

できるだけ多くのユーザーがこの機能を実際に利用できるように、現在この機能はデフォルトで有効になっています。ただし、使用しているシステムに 5.20.0 ファームウェアがインストールされている場合は、5.20.1 ファームウェアをインストールしてもメモリーページリタイアメント機能の現在の設定は変更されません。この場合、機能の現在の設定が disabled になっていると、この機能は無効のままになります。

この機能を有効にするには、setupsc コマンドを実行して Enable Memory Page Retirement オプションを true に設定します。詳細は、『Sun Fire エントリレベルミッドレンジシステムコントローラコマンドリファレンスマニュアル』(Part No. 819-5589-10) を参照してください。

---

**注** - mpr-support-enable の設定変更は、次に setkeyswitch off および setkeyswitch on のコマンドシーケンスを実行したあと有効になります。

---

